

創業以来「人」に重きをおいた経営



経営理念

- 一、常に優れた商品を安全に造り
適正な利益を追求して
広く社会に貢献し
会社の繁栄を求める
- 一、常に社員の豊かな心と
生活の向上を考え
利益を適正に配分する
- 一、常に変化する社会情勢に
対応するため
自己啓発、相互啓発に
努める

弊社は1967年11月に設立し、おかげさまで2022年に55周年を迎えることが出来ました。

弊社の主な事業は、道路の舗装工事をベースに、下水道管の補修および管更生工事、環境・土木工事業業など、首都圏のライフラインを維持するための事業を一貫して手掛けています。

現在、補修・改修工事の市場規模は拡大傾向にあります。

この分野における弊社の強みとしては「高い技術力」「安定したお取引先」「提案力のある人材」3つがあげられます。

第1は、品質保証の国際規格である「ISO9001」の認証を取得するなど高い技術水準を維持・確保しています。

第2に、お取引先は国土交通省をはじめとした官公庁や、通信や電力工事関連といった持続的に安定して事業を展開している企業です。これらのお取引先から受注するライフラインは恒久的であり、広く社会に貢献しています。

第3は、培ってきた経験を集結し、交通や地域住民の方々の生活への影響を考慮した施工技術などを認めていただき、感謝状や表彰状を多数賜りました。年々変容していく都市環境に対し、時代に即した提案ができる専門集団であることも、各方面から高評価を頂いている要因だと思っております。これからの弊社の更なる成長に向け、共にチャレンジして頂ける仲間との出会いを楽しみにしております。

日工建設について

日工建設を支える3つの柱

日工建設は1967年設立以来、土木関連のインフラ整備業者として、首都圏で国土交通省、東京都などからの元請けを主体とした事業を展開しています。

事業の3本柱は、道路舗装事業、環境・土木事業、下水道管メンテナンス事業。中でも国道の維持・修繕分野は、長年の経験と実績から、当社の生命線となっています。

変化する都市環境に迅速に対応し、社会に貢献すべく、社員一人ひとりが切磋琢磨し業務を推進する専門家集団となり、更なる飛躍を目指します。



日工建設の実績と評価

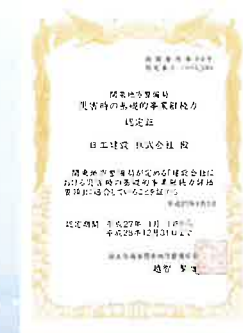
受注した物件は、積極的な技術提案をさせて頂いたり、近隣の交通や住民の方々への生活に配慮した仕事を高く評価いただき、国土交通省等より多くの感謝状、表彰状を頂いております。また、品質管理に関する国際規格である ISO9001 の認証を取得するなど、ソフト・ハード面において高い技術水準を維持しております。



BCP(事業継続計画)について

「事業継続計画」では、大規模な災害が発生した場合、当社従業員、社屋、設備等に相当の被害を受けても、重要業務をなるべく中断させず、また例え中断しても、許容される時間内に復旧ができる事が求められています。

当社は、首都圏の建設企業として大規模な災害が発生した場合、できる限り地域の救助、復旧活動に当たり地域の期待に応えるべきと認識しており、更に従業員や家族、関係先各位のためにも、当社が相当の被害を受けても極力経営を継続すべく努力する所存です。



～ 学生の皆様へ ～

公共性が高く、誇りを持って働ける職場です。

日工建設の軸である舗装の仕事には、交通施設をはじめ、公園や競技場などイベント施設の駐車場、歩道のバリアフリー化による環境整備などがあり、私たちの生活の基盤づくりに不可欠な職種です。



出来上がった現場を改めて見たときの達成感を味わってください！！

施工管理とは、現場の司令塔となり、安全・品質・工程の管理および関係書類の作成など、その仕事内容は多岐に亘りますが、苦勞して完成させた現場を改めて見たときの達成感は、造り上げた本人にしか味わえないものです。



技術力の向上に励んでいます。

毎年行われる社員研修では、建設機材の取り扱いや測量などの基礎的なものから舗装技術によるヒートアイランド現象の抑制や、豪雨時の安全走行の確保など、環境に配慮した技術の研鑽に励んでいます。

また、国家資格である土木施工管理技士等の資格取得を奨励し、上司や先輩社員によるきめ細かな教育・訓練を行っています。



舗装工事業

paving work

創業以来根幹であり続ける舗装工事業

日工建設にとって舗装工事部門は、創業以来培ってきた道路エンジニアリングの根幹と言えます。

技術の確かさは、公共事業における数々の実績が証明していると自負し、周辺環境や近隣住民の暮らしに配慮した最新の舗装技術による施工についても、国土交通省・各地方官庁などから高い評価をいただいております。

日工建設は、現状に満足することなく最適な技術の開発にチャレンジし、皆様に納得いただける工事を行ってまいります。

代々木出張所管内代々木維持工事

代々木出張所管内-国道20号、246号国道20号（約16.6Km）、246号（14.8Km）における巡回を実施するもの、また、路面陥没や異常気象時などでの迅速な応急処理を実施する工事。



湾岸道路根岸舗装工事

神奈川県横浜市中区千鳥町地先。湾岸地域の交通インフラ整備により、周辺地域の開発支援、物流の効率化と都市交通の混雑緩和を図る等、円滑な道路交通網の形成を目的とした工事。



未来を足元から支える

下水道事業

sewerage work

ライフラインを支える 下水道事業

現在、地下埋設管の整備においては、工事による交通や地域住民の生活への影響を極小化する工法を用いることが重要な課題であり使命です。

日工建設では、いち早くこの点に注目し、1986年より埋設管更生工事の技術開発に取り組んできました。

都市の地下を縦横無尽に張り巡らされたライフラインを整備個所の状況に合わせて最適なメンテナンス工法で更生し続けていきます。



EPR工法・EX・クリアフロー工法
ダンビー工法・パルテムSZ工法



管路再生工事—開削工事



ガリガリ君工法
フロートレス工法



エポ工法・ツインドリル工法
テレビカメラ調査・排水管清掃

最新技術で都市と環境をつなぐ

環境・土木整備事業

paving work

幅広い社会基盤整備 環境・土木整備

鉄道車両の走行路から情報BOXの管路まで。また都市の上下水道から宅地造成道路まで、日工建設のフィールドは広範囲です。道路エンジニアリングのエキスパートとして、首都圏の発展と共に歩んできた日工建設ならではの総合技術力とソリューション提案力を存分に発揮しているのが土木工事部門です。

環2地下トンネル 築造工事

東京都港区東新橋一丁目地内。都市中心部における大規模開削工事で環2地下トンネルを築造するもの。地下トンネル区間は港区虎ノ門から中央区築地までであるが、今回工事はそのうちの主要地方道50号東京市川線新大橋通り)汐留工区(港区東新橋一丁目)の約160m区間を施工するもの。鉄建・福田・日工建設共同企業体(JV)工事。



朝潮運河内部護岸地盤改良工事

東京都中央区晴海一丁目地先外1箇所。当該地区の護岸を地盤改良することで、周辺地域を液状化から守るための工事。



「住みやすい街づくり」への挑戦